

農業

ドローン祭り豊作を祈願



6月15日、古前城町の鹿屋農業高校実習田で「ドローン祭り」が行われました。これは毎年田植え前のこの時期に行われているもので、今年で12回目の恒例行事。生徒たちは、大雨が降る中、田んぼでの旗取り競争やドッジボール、サッカーなどを行ったほか、全員で校歌を歌った後、手をつなぎながら田んぼに倒れ込み、友情の絆を深め今年の豊作を祈願していました。

自分たちで作った田んぼで田植え



6月18日、輝北小学校内の田んぼで、6年生の児童による田植えが行われました。この田んぼは、5月末に児童が保護者と一緒に自分たちの手で学校の敷地内に作り上げたもの。児童は、あいにくの雨の中、真剣な表情で田植えを行っていました。

おいしいお米になるように！



6月17日、下高隈町上別府の田んぼで、星幼稚園の園児95人が田植えを行いました。これは将来を担う子どもたちに農業や食事の大切さを伝えるため、上別府湧水友の会が毎年行っているもの。園児たちは、「おいしいお米になるように！」と声を出しながら、笑顔で田植えを楽しんでいました。

イベント



夜のばら園を色鮮やかにライトアップ



6月6日・7日の2日間、かのやばら園でスプリングファンタジーナイトが開催されました。6日は桂竹丸さんのお笑いショー、7日は月刊焚き火ライブが開催されたほか、両日ともゆるキャラショーや花火ショーなどが行われました。かのやばら園には2日間で約5,000人が訪れ、カップルや家族連れなどがイルミネーションに彩られたばら園でロマンチックな夜を過ごしていました。

動画はココ!!



畜産

『父の日』に牛乳を贈ろう！



6月21日の父の日前に、県酪農大隅支所青年女性会議のメンバーが11日、「父の日に牛乳を贈ろう」のキャンペーンで市役所を訪れました。市役所1階ロビーでは、同メンバーがチラシとともに、牛乳200本をプレゼント。地元産牛乳の消費拡大を呼び掛けていました。

表敬

国土交通大臣から感謝状



6月3日、第26回全国「みどりの愛護」功労者国土交通省大臣表彰で、感謝状を贈られた川西町内会・花のサンロード川西の関係者3人が、市役所を表敬訪問しました。これは、同会員の皆さんが8年前から川西町内のフィッストネスパース沿線約200mにバラの花などを植栽し、地域の環境美化に貢献した功績が認められ、県内で唯一感謝状を贈られたものです。

バレーボールでインターハイ出場



6月16日、鹿屋中央高校の女子バレーボール部の監督、選手らが市役所を表敬訪問しました。これは同部が「第68回鹿児島県高等学校総合体育大会バレーボール競技」で優勝し、九州大会と8年ぶり5回目のインターハイ出場を決めたことから行われたもの。主将の繁昌麻里奈さんは「思いっきりプレーをしたい」と力強く抱負を話してくれました。

ママさんバレー全国大会出場



6月29日、5月末に開催された第46回全国ママさんバレーボール大会県予選会で優勝し、県代表として8月の全国大会への出場を決めた串良クラブのメンバーが市役所を表敬訪問しました。全国大会へ肝属地区から県代表として出場するのは、実に17年ぶりの快挙。主将の中園幸恵さんは「得意の速攻プレーで目指すは優勝」と熱く抱負を話してくれました。

剣道でインターハイ出場



6月16日、鹿屋女子高校の剣道部の監督、選手らが市役所を表敬訪問しました。これは同部が「第63回鹿児島県高等学校総合体育大会剣道競技」で優勝し、九州大会と3年ぶり3回目のインターハイ出場を決めたことから行われたもの。主将の山下烈さんは「インターハイでは、上を目指して頑張ってきます」と力強く抱負を話してくれました。

世界初の研究成果を語る



6月12日、九州大学の吉岡宏晃助教が市役所を表敬訪問しました。吉岡助教は鹿屋市出身の30歳で、これまで工場規模の施設でしか作れなかったレーザー素子を、小型のインクジェットプリンターで作る手法を世界で初めて開発。吉岡助教は生まれ育った高隈での思い出を語るとともに、研究成果や今後の目標などについて話していました。

県青少年育成県民会議表彰を受賞



6月5日、県青少年育成県民会議表彰の青少年育成団体の部で受賞をされた、鹿屋市更生保護女性会の皆さんが、市役所を表敬訪問しました。この表彰は、同団体が38年の永きにわたり地域社会の犯罪・非行の未然防止のため、啓発活動や青少年育成活動、更生支援活動に取り組むなど、様々な地域活動を行ったことが評価されて受賞したものです。